

2025Virtus 世界陸上競技選手権日本代表役員の選考について（日本代表役員選考規程）

日本パラ陸上競技連盟(知的)

2025年10月8日～15日にかけて「2025Virtus 世界選手権」（以下、本大会）が開催されます。日本パラ陸上競技連盟(知的)（以下、本連盟）は、「2025Virtus 世界選手権日本代表選手団編成方針」等を受けて、下記のとおり役員選考（以下本選考）を行います。

記

1. 日本代表役員選考基準

- (1)本大会の日本代表選手団員は、選手の障害の程度や性別等に配慮し、選手が最高のパフォーマンスを発揮できるようにサポートできる者とする。
- (2)代表選手の出場種目、障がいの程度を考慮し、「2025Virtus世界陸上競技選手権日本代表選手団編成方針」にて、メダル獲得をサポートするメンバー構成を行う。
- (3)派遣役員数は、原則派遣選手数の3分の1とする。

2. 選考手順

日本代表役員選考方針に基づき、選考委員会での選手選考の後、役員を選考する。選考された役員は選考委員会にて審査を行う。選考委員会の審査を通過した役員を理事会にて承認し、決定とする。

3. その他

- (1)代表役員は「誓約書」に署名し本連盟に誓約書を提出すること。提出しない者は選考を取り消す。またユニフォーム規程を順守すること（日本代表ユニフォーム着用時の写真等は本連盟の許可なく使用できないので注意すること）。
- (2)代表役員は事前の代表合宿（日本ID選手権）の参加を原則義務付ける。参加できない場合は代表役員を取り消すことがある。詳細は後日公表する。
- (3)本連盟の代表役員として不適切な行動のある場合は代表役員を取り消すことがある。
大会終了後、コーチチェックシート（専門性、基本姿勢、組織貢献、資格等）を提出し、自己研鑽に努めグッドコーチを目指す。
- (4)大会までに病気や故障等の医学的な問題により、代表役員としての職務を全うできない場合や、アンチ・ドーピング規則違反、その他参加が不可能な状況が発生した役員について、強化委員会と医事委員会等で協議の上、代表を取り消すことがある。この場合、選考委員会を通じて、理事会にて最終判断する。
- (5)2025Virtus世界陸上選手権大会の参加資格および実施競技が変更されるなど、役員選考について変更する必要が生じた場合は、本連盟ホームページで公表する。
- (6)登録会員が本選考方針について異議のある場合、本選考方針公表後1週間以内に本連盟事務局まで電子メールにて連絡することができる。異議については理事会で審議し、対応は本連盟HPで公表する。
- (7)今回、パーソナルコーチの参加を全額自己負担とすることを条件に認める。ただし、日本選手団の一員として連盟コーチに協力し、パーソナル選手の支援者としての責務を果たすこと。また、状況に応じて他の日本代表選手や役員とも十分に連携できる者とし、理事会の承認を受けた上で、連盟が派遣を認めるものとする。